

卒業論文作成に向けて

5 6月

テーマ決定段階

- ①現時点3年間を通して学んだ真宗学の内容を受けて、自分自身が関心をもつものに目をつけていく。
- ②自身の研究対象とするキーワードを辞書等で引き、その概要を浅くとも理解しておく。

10

↳ 『仏教大辞彙』、『広説佛教語大辞典』など

資料収集段階

自身の研究対象がこれまでどのように研究されてきたのか（書籍・論文等）調べる

- ①まずは自分で研究内容に関連するキーワードをネットで検索する。

15

・検索サイトについて

龍谷大学図書館資料検索機能(「CiNii」、「Inbuds」)など

・キーワードについて

例えば善導の「六字釈」について調べたい場合、「善導」、「観経疏」、「六字釈」、「名号」、「善導 南無」、「善導 阿弥陀仏」と考えられる範囲での関連キーワードを用いて検索。

20

- ②集めた資料が不足と感じても、発見できた論文や書籍の末尾に付されている脚註や参考文献の欄の中から、また資料を発見できることがある。

↓ それでも見つからない場合は・・・

- ③各所属のゼミ発表を通して先生から読んでおくべき資料を紹介してもらおう。また合同研究室にも大学院の先輩方がおられるので、質問してみるのも一つの方法。

7月～9月

25

研究段階

- ①自分自身で可能な限り収集した資料を実際に読んでいく。
- ②一度読んだだけでは内容を掴みかねるので、繰り返し読めば内容理解の向上につながる。
- ③パソコンや手書きでも何でもいいので、先行研究の内容を自分が改めて見た時に理解しやすいように自身の言葉でまとめるなり、メモするなりしておく。諸研究の内容をまとめてみると、その研究に携わっておられた先輩方の間で意見が分かっていたりすることに気づくことがある。そこに着目し、意見が分かっている根拠などを探り整理すれば自身の論文がさらに濃い内容となってくる。
- ④情報整理し、論文の章立て・構成を考える。

35

10～11月

論文執筆期間

今まで得てきた情報を整理し、章立てを考えた上で、実際に論文執筆を開始する。

①7月～9月まで蓄えた研究内容の整理が一応ついたら、卒業論文では具体的にどういった内容で論じるのかということ踏まえた上で**自身の論文題目を正式に定め**、そのテーマに沿った章立てを定めていく。10月には卒業論文の題目提出（章立てについては不要）が求められる。（1）**一度提出すればその題目を変えることは不可能**であり、また（2）**提出しなければ卒業論文の提出も認められず、本年度の卒業もできない**。（3）**予定を把握し**、無事に提出するように。

②研究で得た内容をまとめ、展開を自分なりに組み立て、本文を執筆する。（パソコン本体とは別にバックアップを取っておく）

## 12月

### 論文訂正期間

①一通り書き終えた論文はまず各所属ゼミの先生に論文の原稿を提出する。（方法としてはメールでファイルを添付して送信、もしくはゼミ終わりの時間帯に直接お見せする場合がありますが、各所属ゼミの先生のご指示に従うのが良い。先生のご予定の問題もあるので、その際はメールなどで事前にアポは取っておく必要がある。）

②先生からご指摘があった場合は、該当箇所を訂正するようにする。

③訂正し終われば再度提出して確認してもらう。

④再度提出の内容に問題がなければ、改めて誤字・脱字はないか、**体裁はしっかり整っているか**（特に重要）、自身で入念に確認する。

## 1月

### 卒論提出

1月上旬に卒業論文提出。（**日時はしっかり把握、定められたファイルの色も確認**）

①提出期間は2日間。論文は本人が提出しなければならないので、当日に大学に来られないほどの体調不良にかかるとなれば提出できない可能性が出てくる。年を越したら提出準備以外は体調管理を優先に考えるように。

②卒論提出後は安心せず、口述試問に向けて自分自身が書いた内容をしっかり理解しておくように。

## 2月

### 口述試問

2月上旬に副審・主審の先生方による論文内容の試問が行われる。（**日時はしっかり把握**）

### ○最後に

この作成期間中、論文が完成するのか不安になることもたくさんあると思いますが、2万字分の論文を書ければ今後の将来の一つの自信にもつながると思います。将来お寺に係るお仕事に就くにしろ、就かないにしろ、真宗学科で学んだ4年間の内容を貴重な経験として自身に生かしていただきたいと願っております。